

第3回香美町香住区就学前施設再編検討委員会 会議録

日 時：令和6年11月1日（金）19:30～

場 所：香住文化会館3階 大会議室A

出席者：同検討委員会委員

出席 15 名（教育長を含む）、欠席 3 名
事務局 5 名

1. 開会

2. あいさつ（教育長）

3. 報告事項

(1)他市町認定こども園の視察について

4. 協議事項 ※特定の個人・他の行政組織等に関する発言等は掲載を控えています。

(1)香住区就学前施設のあり方（配置）及び再編の時期に関する事務局案について

【香住区自治会代表】会長と協議をした結果、提案のあった基本的な考え方、3園の認定こども園化については賛成。時期、タイミングとしては、施設整備だとか、認可の手続きの関係もあるだろうから令和10年度。今後の話になるが、「今後は、入園の場所、3園になった場合はエリアで決めるのか。」また、「入園料は統一料金的なこともあるのか。」という質問が出ていた。

【事務局】入園は今もそうだが、各保護者の希望である。3園になると希望が3等分になるかは課題である。他市町では第6希望や第7希望まで書いて申請するケースもある。保育の必要性であるとか、どのように優先順位を決めていくのかのあたりも課題と考えている。簡単に地域割ということではない。入園料（保育料）は基本的には今は一律になっている。例えば連絡帳、おやつ代など各園で用意するものには若干の差は出ていると思う。

【主任児童委員】これだけ少子化が進んでいるということを受け、提案のあった公立1園、私立2園の認定こども園化でも仕方ないと考えている。時期についても結構である。ただ、考えていかなければならないと思うことがある。今日開催された「高齢者一人暮らしのつどい」で、「学校が間もなく統合になり、通学する子どもたちの姿を見なくなる。」と寂しそうに言う人があった。バス通学になると、「おはよう」とか「さようなら」

というふれ合いがなくなってくる。地域の人と子どもたちとの繋がり、公民館事業や社会教育関係などで工夫して、地域の人と子どもたちがどんな風に結び付けられるかということを考えてほしい。また、小学校の統合でバス通学が長くなり、車酔の人が増えたということがあったが、同じことが今度、認定こども園化になっても、通園距離が遠くなるということも考えられるので、そうした対策を考えていかなければならないと思う。

【事務局】意見のとおり、公民館事業もある。他市町の認定こども園では5歳児になると地域に出る取組も行っている。地域の祭り等も引き続きある。地域のつながりについてはそれぞれの園によって特徴的な取組もされると思う。また、バス通園については、認定こども園になると、保育園と同じで保護者による送迎が原則と考えている。今も長井の人が香住まで通っている、香住の人が柴山保育所まで通っているということもある。これらを踏まえて考えていくことになる。

【主任児童委員】9月には視察研修で勉強させてもらった。基本的には事務局案で配置は公立1園、私立2園と思っていた。視察で子どもたちの少子化が進んでいき、計画を見直さざるを得なかったということを聞いた。香美町の見通しとして、3つの認定こども園になるわけだが、これをさらに見直すことがあるのかという不安も思った。もう一点は人数で、1クラス15人から30人ぐらいが一番適切ではないかということを見て、15名ずつぐらいがいいのではないかと思った。今、0歳児が38人と聞いたので、将来的にこれを3つに振り分けると、どんどん子どもが少なくなるのではないかと思った。やはりたくさんの中で育つことのよさが、視察でわかった。そういうことを考えていってほしい。基本的には事務局案でよいが、小学校の統合もあるので令和10年でよい。

【事務局】少子化により年30人になるのではという資料を提示している。どのようなペースでさらに少子化が進むかははっきりと言えない。場合によっては、20年、30年後に、状況に応じて、声が上がったり、問題が生じたりすると検討が必要になると考える。

【教育長】事務局が言ったように、数の減少が今後どうなっていくか。今の香美町の動きを見ると、数年間はそんな大きな変動を見せていないのが現状で、町全体でだいたい40人ぐらいのところで推移していく。その中で今、スタートを切っていく。今後、3園はしんどい時がくれば当然、また検討していかなければいけないと捉えている。ずっと3園でいくということではない。

【柴山保育所長】柴山保育所では意見を保護者会と合わせているので、あとで聞いてもらう。職員としては事務局案に賛成。

【柴山保育所保護者代表】視察の報告と保護者アンケートを実施し、約7割の保護者が事務局案に賛成。全体的に認定こども園化することによって、やはり、幼稚園ではなく子育て世代が安心して子どもを預けられる環境にしてほしい。通勤時間のことも含め、現在の幼稚園の預かり保育よりも認定こども園化に対する賛成意見が多かった。公立

と私立との選択肢があることでいいバランスだと思う。小学校入学時に出身の認定こども園によって、子どもの学力や人間性に大きなばらつきがないようにしてほしいという意見もあった。そのためにも町で策定するスタンダードカリキュラムが大切で、各園の特色を残しながら、公立と私立が協力して取り組んでいてもらいたい。やはり、人数の話で将来の人数を1学年30人と見ると、本当に香住区内で3園も必要なのかという意見もあった。再編の時期については、この令和10年の運営予定に間に合うよう進めてほしいという意見があった。この再編をきっかけに、待機児童がないことを香美町の魅力として発信してもらい、移住の促進とかに繋がればいいという意見もあった。

【みなと保育園長】事務局案について、現時点では同意する。

【みなと保育園保護者代表】3つの認定こども園を配置する提案については、ほぼ賛成でしたが、やはり、先ほどあったように、令和10年以降に少子化が進む中、3園というのが本当に一定数の集団が成り立つのかという意見が多かった。令和10年度というところは皆さん同意だった。

【青葉保育園長】園の配置、時期については賛同。その他の方法で職員が気にかけていることに、先ほどのスタンダードカリキュラムの検討について、処遇改善等のスキルアップ研修のように、何度か開催する中で、1つを受ければよいものなのか、また、保育の時間が平日7:00～19:00、土曜日保育もやっている中で、みんなが集まるのはなかなか難しいのではないかと。「何度か開催される中の一回に参加すればよい。」としてほしいのと、開催は平日の夜が望ましい。できれば、「休日はなし」にしてほしいという職員の声を聞いている。カリキュラムを策定する際に思案してもらえればと思う。

【長井幼稚園保護者代表】保護者に事前に事務局案を配った上で、意見交換を行った。今の段階で賛成・反対は言いにくい。少子化になり子どもの数に応じた施設のあり方となっている中、3園に分かれることで子どもたちの交流が減ってしまうのではないかと、どういう風に交流していくのかということが不安であるということだった。今後の検討委員会でのスケジュールでこの配置が決まってから人数配置とか施設の場所等を決める流れになっていると思うが、今回の事務局案の時点でこれらの案について少しでも記載してあれば、より賛成・反対の意見が出しやすかったのではないかとという意見もあった。再編の時期については令和10年度がいいのではないかと。

【柴山幼稚園保護者代表】他の地域では、10年ほど前から認定こども園になっているので、香美町も認定こども園になることは賛成という意見があった。時期も令和10年でよいと思っている意見があった。香住幼稚園はまだ新しくもったいないが、当然ということや保育士の人数確保が難しいので、認定こども園は3園で充分だという意見だった。

【香住幼稚園保護者代表】佐津地区で話し合った結果としては、具体的に賛成・反対の意見はもらえなかったが、やはり少子化が進む中、せっかく委員会を開いているので、本当に3園を残していいものかということと、認定こども園にして補助金が出るにし

ても、多額の費用が発生してくると思うので、3園を残して何年もつのかという漠然とした疑問がある。今後のシミュレーションを踏まえて、どういう風に維持費、予算とか、いくつか具体的に聞けたらと思う。

【事務局】予算的なことも各園の定員数によるところが大きい。それぞれの運営にもよるが、人数が決まればある程度の数字は計算できないこともない。これについてはもう少し時間をもらわないと、各園準備ができないかと思う。例えば収支計画等も非常に大切なことである。各園とも調整しながら、どうなのか、どの時期ならできるのかというあたりも調整させてもらう。

【香住幼稚園保護者代表】現時点では事務局案について賛成。子どもの数が減っていく。町もPR活動なども考えてほしい。再編の時期は賛成。

【香住幼稚園保護者代表】時期や配置について賛成・反対というところまでの意見は、決まっていないが、質問や思いが出ていた。少子化で年間出生数が30人となることが見込まれ、3園が本当に要るのか、この体制がいつまでもつのかという意見があった。また今後、検討していくのかかもしれない。公立の運営について、位置、場所、送迎を町がどのように運営していくのか。私立の運営についても、子どもがどんどん少なくなっていく中、受け入れ定員数やどれくらいの規模を考えているのかといった意見が出た。大きくなってくと公立の学校に近いところに入所すると思うが、4歳まで私立、5歳のみは公立を選択するということもあるのかどうか。あとは場所について、基本的には認定こども園は保護者が送迎をするということであるが、5歳児は小学生と一緒に通園できるような場所で、今のような状態も残してほしいという意見もあった。小学1年生で初めて会う友達が出てくるのが不安で、カリキュラムに一定の交流もあるかもしれないが、そういう対策等もあるのかという意見もあった。

【事務局】意見ということであったが、実はそうした細かい課題が今後出てくると思っている。今年度は再編の施設配置や時期を議論し、今年度中に骨格を決めたい。役職によっては春に代わる方もあると思うが、皆さんの任期を令和8年の春までということで委嘱させてもらっている。他の委員にもあったが、再編に向けいろいろな課題が出てくると思う。来年の春以降、そうした課題も議論したいと考えている。公立でできること、私立でできること、皆さんの意見をもらい考えていきたい。

【香住幼稚園長】事務局案で賛成だが、先ほどから意見が出ているように、3園に分けたときに、園児数が10人ずつくらいになる。今の柴山幼稚園くらいの人数になる。本当に3園でやっていくにあたって、今後どうなっていくのかと思う。子どもが少ないなら、少ないなりにやっていかなければならない。たくさんの細かい課題が出てきた。公立としても、できることを相談しながら考えていかなければと思っている。

【教育長】3園が続くのかということに関しては、先ほど答えたように、今後は続いていくものとして捉えていく。ただ、絶対にこれは半永久的に3園でいくということではないと先ほど言ったように、各園の運営に関し、当然チェックを入れながら考えていかなければいけない瞬間が来る。10年20年先を見たときには、間違いなく30の人数

ではなくなっているだろうと予想できるので、そのあたりに関しては今後また、検討は加えるということで、ここで今決めたからずっとこれから先は3園だということではないことだけは頭に置いておく必要がある。

【青葉保育園保護者代表（代読）】事務局案に賛同。再編時期に異論はない。今後の未就学児人数の推移によっては、段階的に3園から2園への再編も検討してほしい。今は幼稚園をはさむことで、学用品が共用でき、入学時の費用分散できることはありがたいので、共用できるものがあるとありがたい。

【公募委員（代読）】アンケート調査で、再編してほしいという意見が多いなら、それでいいと思う。公立・私立とあった方が保護者も選べるしいい。再編時期もしっかり整えばそれでいいと思う。

○事務局案に係る採決の結果

①再編後の施設配置

事務局案「私立2園と公立1園の3つの認定こども園を配置する。」

採決 出席委員 承認14人、否認0人

②再編の時期

事務局案「令和10年度」

採決 出席委員 承認14人、否認0人

以上をもって、香住区就学前施設の再編に係る「再編後の施設配置」及び「再編の時期」については、事務局案を同検討委員会の案とすることに決定した。

5. その他

(1)次回開催について

①日 程 令和6年12月（※日程調整の上、後日連絡）

②場 所 未定

③協議事項 各施設の定員数及び設置箇所について

6. 閉会